

大阪大学図書館報

Vol. 10, No. 1 April 1976

目 次

- | | |
|-------------------|------|
| ○図書館委員 2 年の任期を終えて | ○会 議 |
| ○教官著作寄贈図書 | ○日 程 |
| ○本館受入参考図書 | ○人 事 |

図書館委員 2 年の任期をおえて

山 田 信 夫

文科系、少くとも文学部の者にとっては、図書・書物（しょもつ）・本というものは、毎日朝から晩まで、いわば寝てもさめてもついてまわるものである。その仕事の基本が書物と切り離せられないからだ。いわゆる野外調査や実験的な仕事もなくはないけれど、基本ではない。それらが仕事の主流になって来た心理学・社会学・教育学などの分野が、文学部からぬけ出して新しい学部を構成した理由も、そこにあった。

一口に図書・書物と言いきるのもまずいかもしれぬ。正しくは文書（もんじょ）・絵図など、とにかく書かれたものということだし、それらと切っても切れぬ縁があるといっても、けっしてそのつながりは一様ではない。同じ文学部の人間でも、「純哲」「純文」——純粹哲学・純粹文学の略で、文献学以前の、哲学・文学の基本的研究をいう。文学部の根幹でもある——の人なら、極端なばあい 1 冊の本だけを手にし、1 言 1 句をおろそかにせず読みかつ思索することに苦闘する。そのようなこともけっこうあろう。それに対し、歴史学者は、多くのばあい書物ををかならずしも読むものとして扱っていない。史学科の研究室にある図書のうち大きな 1 割を占めるのは、本の形をした史料類で、ふつうの意味の「読む本」ではけっしてない。その中から過去の事実を示すはずの歴史資料を見つけ出すためのもの、学門用語で「史料をとる」ためのものである。

もう一つの種類は実験科学の実験器具のようなもので、各種の書目・年表・地図・事典・辞書など、現代図書館用語では参考図書というが、中国書誌学ではむかしから、ちゃんと「工具」とよばれ分類されていた。これらもちろん書物の形をしているが、その使い方——読み方ではない——をマスターして、はじめて歴史学専攻の資格ができる。要するにこれらは「使う本」である。

読むためのものであろうと、使うためのものであろうと、本・書物が文学部人にとっては切り離せられぬものである以上、その本山ともいべき図書館というものに、無関心であり得ぬのは当然である。そして、わが阪大図書館で、近年、機械化・集中化などの新しい構想が実現化される、一応それにも対応して来たものの、どうもその新しいしくみがなっとくできず、なじめぬ思いでいたところ、図書館委員をおおせつかったのが2年前のことだった。そのときには、それまでときどき耳にもしていた新しい大学図書館のあり方、というものを、このさい知ることができればと思った。しかしけっきょくあまり何もわからぬまま2年の任期も終わったというのが現在の私ではある。

それにしても何かと、これからの大学図書館、とくにわが阪大のばあいについて考えさせられはした。その中でも近年とくにクローズアップされている、情報流通機構の中に占める大学図書館の役割の問題は、今の私にはまだ良くわからぬけれど、これからの最も重大な研究課題らしい、という感じだけはしている。それは、単に研究情報源として図書館のしくみをどうととのえるかだけではない。この情報化時代の情報サービスを、はたして大学図書館が将来ともない得るかということでもある。それと、ほんらいの図書館の、図書を所蔵保存し、それを読み、使ってもらおうという役割との関係は、具体的に考えはじめるとけっして簡単なものではなさそうだ、という感じでもある。よく言われる研究図書館か学習図書館かというだけではすまされぬものが、これからの大学図書館をめぐる大きな問題かもしれぬと。図書館委員であってもなくても、これからもこの問題は考えようと思う。なにしろ書物ひいては図書館との縁は切ることができないのだから。

(文学部・教授)

教官著作寄贈図書

——本 館——

人見 勝人 (工・教授)
生産システム工学 (大学講座 機械工学
31) (共立出版 昭50)

布目潮風 (教・教授)
随の煬帝と唐の太宗 (人と歴史シリーズ
: 東洋7) (清水書院 昭50)

——理学部図書室——

藤田 博 (理・教授)
Foundations of ultracentrifugal
analysis, by H. Fujita. (Wiley, 1975)

関 集三 (理・教授)

化学結合論 第2版 クールソン著
関集三訳 (岩波書店 1970)
水の構造と物性 カウズマン著 関集三
訳 (みすず書房 1975)

——吹田分館——

堀川 明 (工・教授)
機械工学入門 (朝倉書店 昭50)
杉山 博 (工・教授)
確率統計要論——工科を主とした——
(養賢堂 1971)
渡辺 正紀 (溶接工学研究所・教授)

- 改訂新版 溶接作業読本
(日刊工業新聞社 1976)
- 薬学部分館**——
- 岩田平太郎 (薬・教授)
タウリン—その代謝と生理・薬理作用—
岩田平太郎・栗山欣弥著
(医歯薬出版 1975)
- 中之島分館**——
- 山村 雄一 (医・教授)
酵素療法ハンドブック 山村雄一監修
(科研化学 昭49)
- 河村洋二郎 (歯・教授)
フィン臨床小児歯科学 河村洋二郎監訳
(医歯薬出版 昭50)
- 川越 裕也 (医・講師)
輸血 川越裕也著 (近代企画 昭50)
- W. チャンドラ (医)
新しい刺針療法 余一農編著 W. チャン
ドラ訳 (中外医学社 昭50)
- 山村 雄一 (医・教授)
気管支喘息治療への新しいアプローチ
山村雄一編 (診療新社 昭50)
- 宮地 徹 (医・教授)
改訂版臨床組織病理学 宮地徹編
(杏林書院 昭51)

本館受入参考図書

- (50年12月～51年2月排架済)
- 総合情報管理事典 (日本経営出版会)
明治前期書目集成 補巻2-4
(明治文献)
- 世界大百科年鑑1975 (平凡社)
宗教学辞典 (東京大学出版会)
キリスト教大事典 改訂新版 (教文館)
聖書思想事典 (三省堂)
日本考古学辞典 (東京堂)
大阪市区別地図地名総覧1976
(大阪人文社)
- 京阪神市街地図集1976 (大阪人文社)
東京都地図地名総覧 昭51 (人文社)
新日本分県地図 昭51 (国際地学協会)
中国地図帳 (平凡社)
体系金融大辞典 (東洋経済新報社)
体系憲法事典 (青林書院新社)
授業研究大事典 (明治図書)
商法小辞典 (中央経済社)
最新労働用語辞典 (日刊労働通信社)
経済新語辞典1975 (日本経済新聞社)
- 商事法辞典 (一粒社)
書式全書 新版 (金園社)
国際法辞典 (鹿島出版会)
注解新教育六法 (第一法規)
英米法辞典 (有斐閣)
体系経済学辞典 (東洋経済新報社)
特殊法人総覧 昭和50年版
(大蔵省印刷局)
審議会総覧 昭和50年版 (大蔵省印刷局)
全国短大高専職員録 昭和51年版
(廣潤社)
全国学校総覧 昭和51年版 (原書房)
新労働衛生ハンドブック
(労働科学研究所)
- 続原色日本魚類図鑑 (保育社)
羅英独仏・和対照医学大字典 (金原出版)
原色日本地衣植物図鑑 (保育社)
化学便覧基礎編 改訂二版 (丸善)
化学要語辞典 (技報堂)
栄養学ハンドブック全改訂版 (技報堂)
仏和理工学辞典 第三版 (白水社)

- 和英独機械術語大辞典 (オーム社)
 電気工学用語辞典 (技報堂)
 健康生活大事典 (社会保険法規研究会)
 原色園芸植物図鑑1 (保育社)
 林業百科事典 (丸善)
 日本国語大辞典第11-12, 14-18卷
 (小学館)
 英語前置詞活用辞典 (大修館)
 英米故事伝説辞典 増補版 (富山房)
 言語理論小事典 (朝日出版社)
 現代英語学辞典 (成美堂)
 新英文法辞典 (三省堂)
 京都語辞典 (東京堂)
 現代用語の基礎知識 1976 (自由国民社)
 萬葉集総索引漢字篇 (平凡社)
 図説日本の財政 (東洋経済新報社)
 労働白書 昭和50年版
 世界経済の課題 1975年版
 子ども白書 1975年版 (草土文化)
 図説経済白書 昭和50年版 (至誠堂)
 中小企業白書 昭和50年版
 地方財政白書 昭和50年版
 経済協力の現状と問題点 1974
 (通商産業調査会)
 世界経済白書 昭和49年版
 海外市場白書 1975 (日本貿易振興会)
 林業白書 昭和49年度 (日本林業協会)
 図説魚業白書 昭和49年度
 (農林統計協会)
 図説農業白書 昭和49年度
 (農林統計協会)
 通商白書 昭和50年度
 世界農業白書 1974 (国際食糧農業協会)
 警察白書 昭和50年版
 犯罪白書 昭和50年版
 建設白書 昭和50年版
 原子力白書 昭和49・50年版
 婦人労働の実情 昭和50年版
 防災白書 昭和50年版
 交通安全白書 昭和50年版
 経済白書 昭和50年版
- 環境白書 昭和50年版
 労使関係白書 昭和50年版
 (日本生産性本部)
 観光白書 昭和50年版
 海上保安白書 昭和50年版
 学術白書 昭和50年版
 農業白書附属統計表 昭和49年度
 (農林統計協会)
 アジア経済年報 1973 (原書房)
 世界経済年報 1974 (日本国際連合協会)
 国民所得統計年報 昭和50年版
 物価指数年報 昭和49年
 (日本銀行統計局)
 機械統計年報 昭和49年
 (通商産業調査会)
 建築統計年報 昭和49年度版
 (阿部写真印刷)
 都市交通年報 昭和50年版
 (運輸経済研究センター)
 文部省第101年報
 経済変動観測資料年報 1975年版
 電子計算機ユーザ調査年報
 (日本経営科学研究所)
 防衛年鑑 1975 (同刊行会)
 日本都市年鑑 昭和50年版 (自治日報社)
 日本統計年鑑 第25回 昭和50年
 (日本統計協会)
 世界人口年鑑 (1973) Vol. 25 (原書房)
 読売年鑑 昭和51年版 (読売新聞社)
 韓国年鑑 1974, 1975 (日韓経済新聞社)
 日本農業年鑑 1975 (家の光協会)
 電通広告年鑑 昭和50年版 (電通)
 気象年鑑 1975年版
 化学工業年鑑 昭和50年版
 (化学工業日報社)
 世界統計年鑑 1974 (原書房)
 商業統計速報 (通商産業調査会)
 貿易業態統計表 昭和49年
 (通商産業調査会)
 中小企業の経営指標 昭和50年版
 (中小企業診断協会)

- 中小企業の原価指標 昭和50年版
(中小企業診断協会)
- 経済要覧 1975
- 観光要覧 昭和50年版 (ぎょうせい)
- 全国市町村要覧 昭和50年版 (第一法規)
- 学校基本調査報告書 昭和48年度
- Britannica book of the year, 1975.
(Encyclopaedia Britannica)
- Encyclopedia of associations. Vol. 1.
(Gale Research)
- The foundation directory.
(Foundation Center)
- Ayer directory of publication, 1974.
(Ayer Pr.)
- Editor & Publisher international year
book, 1974. (Editor & Publisher)
- American library directory, 1972-1973.
(Bowker)
- LIST 1971; library and information
science today.
(Science Associates/International)
- A. L. A. glossary of library terms.
(American Library Association)
- American book publishing record;
cumulative, 1973 (Bowker)
- A guide to popular government
publications for libraries & home
reference. (Libraries Unlimited)
- The official Associated Press almanac,
1973. (Almanac Pub.)
- Internationales Woerterbuch der
Abkuerzungen von Organisationen.
(Dokumentation)
- Japan and Korea; an annotated
bibliography of doctoral dissertations
in Western languages, 1877-1969.
(American Library Association)
- A guide to reference materials on
Southeast Asia. (Yale Univ. Pr.)
- Who's who in America, 1972-1973.
(Marquis)
- Who was who in the USSR.
(Scarecrow Pr.)
- The American political dictionary.
(Holt)
- Yearbook of the United Nations, 1970.
(Office of Public Information,
United Nations)
- The McGraw-Hill dictionary of modern
economics. (McGraw-Hill)
- Encyclopedia of banking and finance.
(Boston Bankers Pub.)
- Private independent schools, 1974.
(Bunting and Lyon)
- American men of science. Supplement
4-5. (Bowker)
- International television almanac, 1971.
(Quigley)
- The national directory for the
performing arts and civic centers,
1974. (handel)
- The international cyclopedia of music
and musicians. (Dodd)
- Romanische Bibliographie, 1961-1962,
1963-1964, 1965-1966 (Max Niemeyer)
- A dictionary of new English, 1963-1972.
(Longman)
- The reader's adviser; a guide to the
best in literature. Vol. 1. (Bowker)
- Книжная летопись. 1911
(Kraus Reprint)
- Летопись периодических
изданий СССР. (Книга)
- Журнальная летопись. 1931.
(Kraus Reprint)

会 議

——中之島分館運営委員会——

51. 1. 3 (火) 15:00~16:00 中之島分館会議室

現分館長山野俊雄教授の任期満了にともなう分館長選挙が行われ、開票の結果、吉田博教授(医学部薬理学第1講座)が、次期分館長に選出された。任期は昭和51年2月17日より2年間。

——大阪大学附属図書館体系検討小委員会——

昭和50年7月22日(火)開催の図書館委員会において、大阪大学附属図書館体系検討小委員会(以下「小委員会」という。)の設置が承認され、また、小委員会は、館長、各分館長、豊中地区運営委員会委員長および各地区・(分館)運営委員会から選出された2名の委員をもって構成することが決定された。ほどなく各地区(分館)運営委員会が開催され、当該地区(分館)ごとに2名の委員が推せんされ、小委員会は、次の者で構成することとなった。

高田 馨	附属図書館長	山田 信夫 (文)	豊中地区運営委員会選出委員
山野 俊雄	中之島分館長	覚道 豊治 (法)	同 上
西村正太郎	吹田分館長	吉田 博 (医)	中之島分館運営委員会選出委員
三浦 喜温	薬学部分館長	加藤 四郎 (微)	同 上
芝 哲夫	豊中地区運営 委員会委員長	大路 清嗣 (工)	吹田地区運営委員会選出委員 上
		森本 信夫 (産)	同 上

小委員会の審議は、極めて慎重に進められ、現在までの審議状況は、次のとおりである。

- 第1回 S. 50. 11. 21 (金)
1. 委員長の互選について
 2. 大阪大学附属図書館体系検討小委員会要綱(案)について
- 第2回 S. 50. 12. 5 (金)
1. 7大学の附属図書館体系に関する資料について
 2. 分館・分室の在り方について
- 第3回 S. 51. 1. 29 (木)
1. 吹田分館、産研図書室、工学部学科図書室の実情調査について
 2. 分館、分室の在り方について
- 第4回 S. 51. 2. 24 (火)
1. 大阪大学附属図書館体系検討小委員会中間報告(案)の検討について
 2. その他

小委員会として、分館、分室に関する基本的考え方が決定されたことに基づき、昭和51年3月10日開催の図書館委員会において、高田委員長から「大阪大学附属図書館体系検討小委員会中間報告」の資料に基づき報告がなされ、また、同中間報告に対する各図書館委員の意見を当該地区(分館)運営委員会で吸収し、小委員会に意見を反映されることの要望があった。中間報告については、紙面の都合と最終的決定でないため省略するが、その要点は次のようである。

1. 分館体系について

中之島分館が吹田地区移転後は、現行三分館制(中之島分館・吹田分館・薬学部分館)が、二分館制(吹田分館・生物系図書館(仮称))に改組する。

その際、薬学部分館は、生物系図書館の吹田地区移転後は、その分室となって人間

科学部分室とともに生物系図書館に加わる。

2. 分室体系について

分室の概念、位置づけが制度上不明確であるが、現存する実態のなかの問題に即した在り方をさぐるものが現実的対応策であるとし、実態を詳細に検討したところ、第1に図書業務・機能の実施の範囲と程度、第2に職員構成の現状、第3に予算・経理の現状などについて統一的運用がなされておらず不均衡がある。分室の在り方について、それらの不均衡を解消させる方向において、施策を考えるべきである。

なお、分室をもたない部局の図書業務との関連をも考えねばならない。

小委員会の審議事項は、分館・分室の在り方に限らず、大阪大学附属図書館（本館、分館、分室）の組織体系および機能等について、現状と問題点および将来的展望—阪大図書館のあるべき未来像—が検討されることとなっている。今後に残された小委員会の果すべき役割は、大きいものがあるといえよう。

日 程

- 50年12月5日 図書館体系検討小委員会 (本館会議室)
- 50年12月11日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会
(和歌山大学附属図書館)
- 50年12月16~17日 国立大学図書館協議会 大学改善調査研究班第11回会議
(東京大学附属図書館)
- 50年12月19日 近畿地区国公立大学図書館協議会 企画委員会 (京都教育大学附属図書館)
- 51年1月13日 大阪大学附属図書館 中之島分館運営委員会 (中之島分館会議室)
- 51年1月22日 分館長会議 (附属図書館長室)
- 51年1月29日 大阪大学附属図書館体系検討小委員会 (吹田分館会議室)
- 51年1月30日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会
(大阪府立大学附属図書館)
- 51年2月9日 第6回近畿地区図書館協議会例会 (和歌山医科大学附属図書館)
- 51年2月9日 国立大学図書館協議会 常務理事会 (東京大学附属図書館)
- 51年2月10日 国立大学図書館協議会 51年度岸本奨励賞選考委員会
(東京大学附属図書館)
- 51年2月18日 国立大学図書館協議会 大学改善調査研究班第12回会議
(東京大学附属図書館)
- 51年2月19日 第8回国立7大学附属図書館協議会部課長会議 (東京都弥生会館)
- 51年2月20日 第49次国立大学附属図書館協議会 (東京都弥生会館)
- 51年2月24日 大阪大学附属図書館体系検討小委員会 (大阪大学工業会館)
- 51年2月25日 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会
(大阪外国語大学附属図書館)
- 51年2月26日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する研究集会
(京都大学楽友会館)


 人 事
 

来訪者

50年11月21日 全豊田資料管理連絡会委員10名

51年2月18日 鹿児島教育センター所員2名

51年2月26日 松村多美子（文部省学術国際局学術調査官）外1名

職員の異動

採用	事務補佐員	菊地 映子	50. 12. 20	本館整理課	目録掛
〃	〃	田中 耕一	51. 1. 21	〃	受入掛
辞職	〃	岡崎美恵子	51. 1. 31	本館閲覧課	閲覧第一掛
〃	文部事務官	椎尾 俊美	51. 1. 31	中之島分館	目録掛
配置換	事務補佐員	印藤千鶴子	51. 2. 1	中之島分館	目録掛
採用	〃	橋本 孝一	51. 2. 1	本館整理課	目録掛
辞職	〃	河野 快晴	51. 2. 28	本館閲覧課	参考掛